



子どもたちと一緒に考える被災地の復興支援シンポジウムで発表する、岩手県山田町の中高校生たち。1月10日、東洋大学白山キャンパスで

シンポジウムを主催した東日本大震災子ども支援ネットワークは、被災地の子どもたちの声を復興・再生に反映させることを目的に、震災直後の5月5日（こどもの日）に発足した。以来、子どもの権利条約をもとにして、政府・国会議員などへの政策提言と、NPOなどへのプロジェクト実施にあたってのアドバイスなどを継続（意見交換会）。毎年シンポジウムを開催し、2013年からは現地の子どもたちを東京に招いて、発言を聴き取り共有する場としてきた。東洋大学教授の森田明美さんが事務局

長を務め、子どもの権利や貧困、ひとり親家庭支援などに取り組む全国各種の団体が参加し構成される。弁護士や児童福祉・教育・心理などの専門家はアドバイザーとして協力し、子どもの権利条約東京市民フォーラムも賛同団体だ。

この日は、岩手、宮城、福島各県の小中高生約20人に、被災地の子どもも学習支援を担い続けてきた大学生、子ども支援NPO、一般参加の大人もふくめて約150人が集まり、各地域で取り組んできた活動の報告や意見交換がされた。

また、高校生の留学を高校生が支援する仙台の活動や、郡山のしんぐるまざあず・ふおーらむによるお楽しみ企画や子ども支援ネットワークが毎年支え続けている保養プロジェクトが子どもたちの夢

を育んだこと。岩手県山田町に開設された軽食と学習のスペース「ゾンタハウス」を「おらーほ（第2の家）」と呼ぶ中高生。いずれも、子どもをゆつくり見守り支援する大人の重要性を感じさせられた。

グループに分かれてのディスカッションでは、地域や年齢、被災状況も異なる子ども同士が「この5年間の大切な出会いやできごと」を述べ合う中で、よい大人に支えられ、自分と向き合い自らエンパワメントしてきた様が見えた。他の災害被災地にも思いを寄せ支援する側に変化したばかりか、次の災害に備えて提言できるまでに成長した子どももいて頼もしかった。

子どもを被災当事者として受け止め、その提言をどう実現させるのか。ポイントは「子ども参加」だということを改めて確認した。

シンポジウムに集った、子どもたちと東洋大学生やNPO団体などの支援者たち

東日本大震災子ども支援ネットワーク第5回シンポジウム 子どもたちと一緒に考える被災地の復興支援 ―復興・再生に必要な「子ども参加」―

東日本大震災からまもなく5年目を迎える。復興政策の転換期とされ、震災の「風化」が懸念されるが、被災地での災害復興公営住宅の建設は3割に過ぎず7割は今なお仮設住宅に暮らす。それでも子どもたちは着実に成長し、1月10日に行われた「第5回シンポジウム 子どもたちと一緒に考える被災地の復興支援」で元気を姿を見せた。



東京・生活者ネットワーク 都議会議員【杉並区】

小松久子

当事者として 子どもが語る、実感する

町の8割が津波で流された南三陸町では、高台が築かれ景色が一変した。「復興という形で造り変えられた」ふるさとを前にした大学生グループは昨年夏に被災地スタディツアーを実施し、この地から震災を語り継ぐことを決めたという。



生活者ネットワークは、都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

HOT NEWS

都議会ネット

■2016年東京都議会第1回定例会の開催、2月17日（水）～3月25日（金）。2016年度予算特別委員会、2月25日（木）～3月24日（木）。共助社会づくりを進めるための東京都指針（生活文化局）。
■2月25日（木）一般質問：山内れい子。

地域ネット

大田ネット

政治塾・家族を守る防災学習会
2月13日（土）14:00～16:00
大田・生活者ネットワーク事務所（蒲田駅）
TEL03-6424-7561

府中ネット

食品添加物学習会「食生活が子どもに与える影響」
2月15日（月）10:00～12:00 府中グリーンプラザ7階講習室（府中駅）講師：野本健司（食の安全を考える会代表）主催：運動グループ府中地域協議会 TEL042-260-4443

板橋ネット

子どもに自衛官募集の勧誘が届いたら。知っておきたい10のこと～元レンジャー隊井筒さんと語ろう！～
2月21日（日）14:00～ 板橋区役所南館1階カフェダイニング「NAKAJUKU」（大山駅）ゲスト：井筒高雄（元自衛官・レンジャー部隊）参加費：500円+フリードリンク代350円（学生、20歳未満は参加費無料、ドリンク代のみ）申込みTEL 03-5920-6875（当日参加可）

品川ネット

区議会議員田中さやか・吉田ゆみこと交流会
2月26日（金）10:30～13:00 コミュニティカフェ「とらびっと」（中延駅）参加費：交流会後のランチ代 主催：運動グループ品川区地域協議会 TEL03-5751-7105

武蔵野ネット

学習会・あなたの「からだ」守れていますか？性教育は人権教育～大切ないのちをどう生きるか～
3月13日（日）14:00～16:00 武蔵野スイング・10階スカイルーム（武蔵境駅）講師：北沢杏子（「性を語る会」代表／アーニ出版共同代表）資料代500円 TEL 0422-36-3767

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制（ローテーション）
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。